警察署への届出が「物件事故」扱いの場合など人身事故扱いの事故証明が発行できないときに必要な書類です。

記載例

（表面）

人身事故証明書入手不能理由書

保険会社　御中

■ 人身事故扱いの交通事故証明書が入手できなかった理由をお教えください。

（人身事故扱いの交通事故証明書が添付されていても、被害者の方のお名前がない場合は、記入してください。）

理由
※ 該当する項目に○印をしてください
※ 複数に該当する場合は、すべてに○印をしてください

- ○ 受傷が軽微で、検査通院のみ（予定を含む）であったため
- ● 受傷が軽微で、短期間で治療を終了した（もしくは終了予定の）ため
- ○ 公道以外の場所（駐車場、私有地など）で発生した事故のため
- ○ 事故当事者の事情（理由を具体的に記載してください。）
  【理由】
- ○ その他（理由を具体的に記載してください。）
  【理由】

◆ 警察へ、事故発生の届出を行っている場合には、以下に記載してください。

届出警察	○○ 警察 ○○ 担当官（判明している場合）	届出年月日	○○ 年 ○ 月 ○ 日

裏面へ ☞ （交通事故証明書が発行されていない場合、または発行されている交通事故証明書にお名前がない場合に限り、裏面の事故当事者、発生日時、発生場所等を記入してください。）

■ 人身事故の事実を確認するため、関係者の記名・押印をお願いします。

◆ 上記理由により人身事故証明書は取得していませんが、人身事故の事実に相違ありません。

- ● 当事者
- ○ 目撃者
- ○ その他（　　）

※ 該当する項目に○印をしてください。

住所 〒 ○○○-○○○○　記入日 ○○ 年 ○ 月 ○ 日

○○市○○町1-2-3

氏名 ○○ ○○ 印

電話 ○○○ （ ○○○ ） ○○○○

（注）当票は、賠償を求める側が、直接、自賠責保険に請求（法第16条請求）する場合には、保険契約者側（契約者、運転者など）の方、または目撃者の方がご記入ください。賠償を求める側が、直接、自賠責保険に請求（法第15条請求）する場合には、賠償を受けた側の方、または目撃者の方がご記入ください。

（保険会社使用欄）　該当する□のすべてに✓する。

加害者もしくは目撃者による署名・捺印が必要です。
何らかの理由により加害者の署名・捺印が困難な場合は、被害者が署名・捺印のうえ、様式余白に「相手方の協力が得られなかった」等の理由を記載してください。

「交通事故証明書」にお名前が記載されている場合は不要です。

記載例

（裏面）

○交通事故概要記入欄

（物件事故扱いの交通事故証明書にお名前が記載されている場合は、以下の項目は記載不要です。）

発生年月日時		年　月　日	午前・午後	時　分頃　天候	
発生場所					
当事者 甲	住所		電話（　）		
	氏名		生年月日	明・大・昭・平　年　月　日（　）才	
	自賠責保険契約先		自賠責保険証明書番号	第　号	
	登録番号		事故時の状況	運転・同乗（甲・乙）・歩行・その他	
当事者 乙	住所		電話（　）		
	氏名		生年月日	明・大・昭・平　年　月　日（　）才	
	自賠責保険契約先		自賠責保険証明書番号	第　号	
	登録番号		事故時の状況	運転・同乗（甲・乙）・歩行・その他	
当事者 丙	住所	○○市○○町３丁目1-2	電話	（○○○）○○○-○○○○	
	氏名	○○ ○○	生年月日	明・大・(昭)・平　○○年○月○日(○○)才	
	自賠責保険契約先	○○損保	自賠責保険証明書番号	第　A123456789　号	
	登録番号	1234567	事故時の状況	運転・同乗（甲・(乙)）・歩行・その他	
当事者 丁	住所				
	氏名		生年月日	明・大・昭・平　年　月　日（　）才	
	自賠責保険契約先		自賠責保険証明書番号	第　号	
	登録番号		事故時の状況	運転・同乗（甲・乙）・歩行・その他	

※ 上記に事故当事者が記入できない場合には、別紙に必要事項を記載してください。

傷害を負った方が同乗者の場合などで、交通事故証明書にお名前が記載されていない場合には、かならず記載が必要です。